



学が  
ながよく  
ねばり強く  
たくましく  
はだしの学校



学校紹介

中名寄小学校は、市街地から南東約8kmの地にあり、田園地帯の豊かな自然と温かな地域の方々に囲まれた学校です。

昭和63年に木材を多用した断熱工法のロτζ風校舎に改築されて以来「はだしの学校」として、児童は生き生きと心身の健康づくりに励むとともに、居間に集う家族のように和やかな気持ちで学習に取り組んでいます。

明治37年の開校から107年目を迎へ、地域と密着して教育活動に取り組んでいます。校区内全戸がPTA会員であり、本校に大変好意的で、多大なご支援をいただいています。

また、保護者は学校の教育活動に積極的で、豊かな環境を生かした特色あふれる教育活動を支える力になっ



# 名寄市立中名寄小学校

豊かな心をもち主体的に行動する子どもの育成

特認校

「豊かな自然環境に恵まれた郊外の小規模校において、基幹産業（農業）を活用した特色ある学習活動を体得し、より豊かな心とたくましい心身を育てたい」との希望がある保護者・児童の皆さんに、条件確認の上で通学区外就学を認めています。（特認校）

本年度の開設学級は1学年1クラス、3・4学年複式1クラス、5・6学年複式1クラス、特別支援1クラスの計4学級です。全児童20人の内、14人が名寄市街地全域からバス通学しています。（バス通学については市から半額程度の補助があります）

市街地通学の児童であっても、中名寄地域は「地元の子ども」として温かく迎えてくれます。地域の大人たちと様々な活動を通じてふれあえること、市街地でなかなか体験できない活動ができること…本校の大きな魅力の一つです。

特色あふれる教育活動

人材・教材の宝庫…中名寄地域

1学期だけでも春の地域清掃をはじめとして、広大な学校園づくり・田植え・地域合同運動会・ふれあい広場や清峰園での中名寄少年太鼓披露・名寄川でのイカダ下り・子ども会キャンプなど、保護者・地域と一体となった活動でいっぱいです。魅力的な教育活動と温かい地域の中で児童たちは優しく、のびのびと育っています。

特に「健康な体づくり」「安全教育」「環境と食育」を教育課程に位置付け、内容の精選と工夫を重ねるとともに、児童一人ひとりの実態にあわせて教育活動の展開を目指しています。

最近では、中名寄小学校出身の佐藤愛子選手（パリ世界柔道大会優勝）とアットホームな雰囲気でもあった「愛子ちゃん 世界一おめでとう！」の会、児童が育てた野菜を教材とした「収穫祭」を実施しました。



確かな学力

教師力を高める校内研修

豊かな自然・温かい地域・充実した校内環境に恵まれ、より一層、児童への基礎基本の定着を図り、活用力・応用力を高めた確かな学力を確立するために、力を注いでいます。

本年度の研究主題は「自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成」です。特に「言語活動を充実させる学習指導の工夫」を授業のポイントとし、全学級担任が研究授業（年間一人4研究授業）を実施し、児童の学力向上と教師の指導力向上に取り組んでいます。

また、本年度は上川教育局フロンティアサポート事業への申し込み、指導主事訪問依頼など、積極的に校外の指導者による指導と助言を受けながら研究を進めています。

本校の教育活動の様子につきましてはWebでご覧いただけます。検索キーは「中名寄小学校」。コンテンツ数・アクセス数では市内小中学校でトップのホームページです。



「Airてっし」で11月4日(金)と14日(月)の午前と午後に放送します。